



大雨や水害に備える「猪名川防災活動拠点」

尼崎市は、東西8.3km南北11.1km、面積50.72km²の扇状地です。南部は大阪湾に面し、東は猪名川、神崎川、左門殿川、中島川、西は武庫川、北は六甲・妙見山系に囲まれ、伊丹台地から尼崎南部にかけてゆるやかな傾斜を描いて大阪湾に下る広大な三角州に位置します。市域はほとんど起伏がなく平坦で、南部地域はいわゆる海拔ゼロメートル地帯です。

市域には、多くの河川が流れています。かつて工場の地下水くみ上げによる地盤低下から、海拔ゼロメートル地帯が生まれ、これまでに風水害がたくさん発生しました。特に被害が激しかったのは、1950(昭和25)年に発生したジェーン台風による高潮被害です。その後、防潮堤整備などにより、大きな水害の危険性を減らす努力が続けられています。しかし、昨今の地球温暖化の影響、台風や局地的大雨の発生を考えると、風水害を予測し日頃から備えることは重要です。

令和3年3月、国交省猪名川河川事務所により、東園田町1丁目に「猪名川防災活動拠点」が整備されました。猪名川は下流から上流に至るまで、流域が開発され、治水安全度が低下してきた経緯があります。これに対し、昭和53年から保水や遊水の機能を保ちながら河川を整備する、治水対策がとられてきました。猪名川防災活動拠点のある「島の内地区」は猪名川と藻川に囲まれており、水害リスクが高い場所です。近年、気候変動の影響による水害の頻発・激甚化も想定し、同拠点には堤防の復旧作業に用いる資材を備蓄しています。さらに、水防や排水活動の支援基地となり、浸水時の災害復旧や、洪水時の水防活動を円滑に進められるよう計画されています。

(参考:『尼崎市地域防災計画』尼崎市防災会議/編集・発行

尼崎市 都市整備局 土木部 河港課

https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/toshi_seibi/kasen/index.html)

●河川や流域について知る本●

『生きのびるための流域思考』	岸由二/著	筑摩書房	212239173
『武庫川紀行』	田中 利美/著	のじぎく文庫/編集 神戸新聞総合出版センター	230294361
『ひょうごの川 おでかけマップ』	兵庫県 県土整備部 土木局	総合治水課 計画班/出版	330054294

<図書館の休館日> ■■■■■ 印の日はお休みです

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



六月:水無月

田んぼに水を入れる月で、暑さで水がかかることから。

別名:鳴神月、風待月、蟬の羽月

行事:時の記念日、梅雨、ほたる狩り

夏越の祓え:病気や災いを避けるため、茅の輪をくぐり、穢れを祓う。

(参考「心をそだてる子ども歳時記12か月」

橋本裕之/監修 講談社)

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・祝日は、午後5時15分まで)



本の修理工房



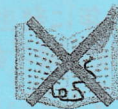
- 【日時】 6月22日(土) 14:00~16:00
- 【場所】 3階集会室
- 【対象】 中学生以上
- 【定員】 先着15名
- 【申込】 6月6日(木)から 1階カウンター、または電話にて受付

簡単な本の修理やブックコーティングの体験ができます！
本の成り立ちや汚破損本についてもご紹介します。

※修理、ブックコーティングの体験は図書館の本を使います。
ご自宅の本を用いての修理、ブックコーティングは行いませんので
ご了承ください。

修理工房 <出張所>

- 【期間】 5月31日(金)~6月26日(水)
- 【場所】 北図書館 1階ロビー



汚れや水濡れ、書き込み、セロテープの貼付等、状態の悪くなった本を展示します。
※展示本は貸出できませんのでご注意ください。

雨の多い季節です 本が濡れないようお気をつけください

北図書館では雨の日、カウンターに薄いビニール袋を用意しています。
お気軽にお使いください。

また、ご来館の途中で突然雨が降る場合もあります。移動の際、雨で本が濡れない
ようご協力をお願いいたします。

万が一、濡れや汚れ、傷みがひどい場合は弁償をお願いしています。

次の方が気持ちよく読めるようご協力をお願いいたします。

※借りた本にお心当たりのない破損等ありましたら、ご返却の際にスタッフに
お知らせください。図書館で修理いたします。

<6月展示のご案内>

- 一般大展示 「雨を楽しむ」
- 2階展示 「みんなで楽しむ尼崎の公園」



大人のための朗読会

【日時】 6月19日(水) 午後2時から1時間ほど

【場所】 3階 集会室

【内容】 『パリのおばあさんの物語』

スージー・モルゲステルヌ／著・岸 恵子／訳

『独立記念日』より「バーバーみらい」

「この地面から」 原田 マハ／著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む 村山早紀

〔むらやまさき〕1963年～長崎県生まれ。児童文学作家。『ちいさいえりちゃん』で毎日童話新人賞最優秀賞、椋鳩十児童文学賞受賞。著書に『シェーラ姫の冒険』『さやかに星はきらめき』ほか多数。

『風の港』

村山 早紀〔著〕／徳間書店

“空港は帰るための場所でもある”漫画家の仕事に見切りをつけ、郷里の長崎に帰るため、亮二は空港へ向かう。搭乗までの待ち時間に、似顔絵描きの老紳士に声をかけられた亮二は……。『旅立ちの白い翼』をはじめとした五つの空港の物語。『読楽』掲載分に加筆修正。

『100年後も読み継がれる児童文学の

書き方』

村山 早紀〔著〕／立東舎

「理想の子どもの本とは」「あなたが書くべき物語」など、子どものための物語の書き方について、著者が自身の経験を通して書き綴った入門書。作家の日常や収入、投稿時代の思い出などのコラムも収録。立東舎webサイト連載に書き下ろし、付録などを加え書籍化。

『魔女たちは眠りを守る』

村山 早紀〔著〕／KADOKAWA

“魔女はすべてを覚えている。ひとの子がすべてを忘れても”桜の舞い散る古い港町に、黒猫を連れた若い魔女・七瀬が帰ってきた。彼女の目的地は、港のそばの商店街、三日月通りのカフェバー「魔女の家」で……。短い時を懸命に生きるひとの子と、長い時を生きる魔女たちとの物語。

『なぞなぞあみちゃん』

村山 早紀〔作〕・緒方 直青〔絵〕

／校成出版社

あみちゃんのお母さんはもうずっと病気で入院しているので、大好きななぞなぞの本を読んでいても、お母さんのことを思うと涙が出ます。そこで、あみちゃんはお母さんのお見舞いに行くことを決めました。おみやげは何がいいか、お母さんに電話をすると……。【小学1～2年生】

活水女子大学文学部日本文学科卒業。著作に、イラストレーター・げみ氏との共著『トロイメライ』『春の旅人』や、本屋大賞に入賞した『桜風堂ものがたり』『百貨の魔法』があり、エッセイなども執筆する。弟は長崎放送アナウンサーの村山仁志氏で、脚本家・小説家としても活動している。

児童室

おはなし会



第1・第2・第3 土曜日 場所:3階集會室

おひざ (0~2歳くらい) 午後2:00~
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~
 大きい人 (小学校低学年) 午後2:40~

6/1 (土)	6/8 (土)	6/15 (土)
●おひざのうえ	●おひざのうえ	●おひざのうえ
「つんつんぱん！」 「どんどんくるくる」	「あめぼったん」 「のびのーび のびのーび」	「はしるのだいすき」 「おいしいおとなあに？」
○小さい人	○小さい人	○小さい人
「そらまめくんのベッド」 「マーシャとくま」	「おみせやさん」 「10までかぞえられるこやぎ」	「べったん！サンドイッチ」 「おいしいおかゆ」
◎大きい人	◎大きい人	◎大きい人
「ピーターのがみ」 「だいくと鬼」	「うみのむこうは」 「おばさん、小さくなる」	「やきいもとおにぎり」 「アナンシと五」



第1・第3 水曜日
あかちゃんひろば

場所:1階絵本コーナー
 6/5 (水)、6/19 (水)
 午前11:00~11:20
 0歳~2歳くらいのお子さんと保護者向け
 赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど

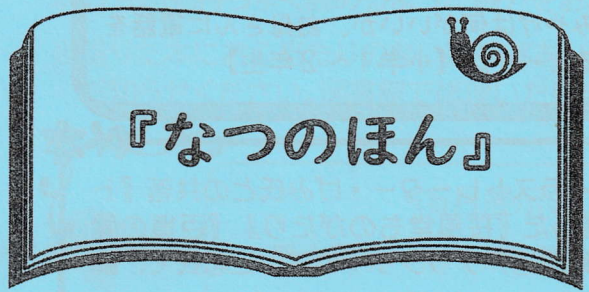


第2・第4 日曜日

場所:1階ロビー2歳くらいから
 6/9 (日)、6/23 (日)
 午前11:00~11:20
 季節の絵本や紙芝居など

2024年6月

今月の展示



日	月	火	水	木	金	土
						1 🐣
2 🐣	3 休館日	4	5 🐣	6	7	8 🐣
9 🐣	10 休館日	11	12	13	14	15 🐣
16	17 休館日	18	19 🐣	20	21	22
23 🐣	24 休館日	25	26	27 休館日	28	29
30						

※🐣日・祝日は、午後5時15分まで